

中学歴史 江戸時代 2 (解答)

* ページ順に問題を解いてください。

要点チェック (レベル 1)

1, 江戸時代の政治の中心を担った人物を年代順に並べなさい。

(徳川綱吉) → (新井白石) → (徳川吉宗) → (田沼意次) → (松平定信) → (水野忠邦)

徳川吉宗、徳川綱吉、松平定信、田沼意次、新井白石、水野忠邦、

2, 5代将軍 (1 徳川綱吉) の政治 : 元禄時代ともいう

- ・幕府の権威が高く、経済が発展した時代 → 安定や秩序を重視
- ・ (2 朱子学) を奨励 : 中国で発達した社会秩序や道徳の学問
- ・ (3 生類憐みの令) を出し、犬など動物愛護をする。

末期には財政が苦しくなり、金銀貨の質を (4 下げる) → 物価が上がる

3, (5 新井白石) の政治 : 朱子学者で、将軍の家庭教師や側近を務めた

- ・ (6 長崎貿易) を制限して、金銀の国外流出を防ぐ
- ・ 金銀貨の質を (7 上げる (元に戻す)) → 物価の安定をはかる

4, 8代将軍 (8 徳川吉宗) の政治 : (9 享保の改革) という改革を行う。

- ・「暴れん坊将軍」ではなく (10 米) 将軍の異名をもつ
- ・幕府の財政をよくするため、10 など年貢収入を増やそうとした
- ・ (11 上げ米の制) : 大名たちに参勤交代の負担を減らす代わりに 10 を幕府に献上させた
- ・武士たちに質素儉約を命じ、新田開発を行う
- ・ (12 公事方御定書) : 公平な裁判の基準をまとめる。
- ・ (13 目安箱) : 民衆の意見を政治に取り入れる
- ・ききん対策としてサツマイモの栽培をすすめる → 蘭学の発展につながる

5, 農村の変化

- ・ (14 貨幣) を使うようになり、自給自足がくずれる。

商品作物の栽培、農具や肥料を購入 → 百姓のなかで地主と小作人のような 貧富の差 が拡大

(15 百姓一揆) : 領主・代官に年貢の軽減、役人の罷免 (クビ) を要求

(16 打ちこわし) : 都市では貧しい民衆が大商人の米蔵などを襲う

15 や 16 が起きやすくなる

語句は次のページにあります。

長崎貿易、朱子学、貨幣、米、^{あげまい}上げ米の制、打ちこわし、新井白石、上げる、下げる、

^{きょうほう}享保の改革、^{しやうるいあわれ}生類憐みの令、^{くじかたおきだめがき}公事方御定書、百姓一揆、徳川吉宗、徳川綱吉、目安箱、

確認問題

- 問1 17世紀後半から18世紀初めの約30年間、徳川綱吉が政治を行った時代を何というか。
- 問2 徳川綱吉が武士たちに学ぶことをすすめた学問は何か。
- 問3 徳川綱吉が出した、動物愛護の法令を何というか。
- 問4 徳川綱吉の後、幕府の政治を中心的に担った学者はだれか。
- 問5 4の人物が金銀の国外流出を防ぐために制限したのは何か。
- 問6 18世紀初め、8代将軍徳川吉宗が行った政治改革を何というか。
- 問7 徳川吉宗がまとめた公正な裁判の基準を何というか。
- 問8 徳川吉宗は幕府の年貢収入を増やすために、何をすすめたか。
- 問9 徳川吉宗は、大名に対して参勤交代で江戸に住む期間を短縮する代わりに幕府に米を納めさせた制度を何というか。
- 問10 徳川吉宗が庶民の意見を聞くために設置したものは何か。
- 問11 18世紀に都市の貧しい人々が、米を扱う商人を襲うことが増えた。これを何というか。

- 1 元禄時代
- 2 朱子学
- 3 生類憐みの令
- 4 新井白石
- 5 長崎貿易
- 6 享保の改革
- 7 公事方御定書
- 8 新田開発
- 9 上げ米の制
- 10 目安箱
- 11 打ちこわし

6、(1 **田沼意次**) の政治：18世紀後半の**老中**

- ・ 商工業を重視して、幕府の財政を立て直そうとした
- ・ 商人に (2 **株仲間**) の結成を奨励
- ・ (3 **長崎貿易**) を奨励し、銅と俵物(海産物)の輸出を増やそうとした
- ・ (4 **天明のききん**) が起こり、**百姓一揆**や**打ちこわし**が急増した結果、辞めさせられた

7、(5 **松平定信**) の政治：(6 **寛政の改革**) という改革を行う

- ・ 農村の立て直し：都市に出稼ぎに来た農民を帰らせる

(7 **囲米**)：ききんに備えて村に米を蓄えさせる

- ・ 旗本・御家人の借金を帳消しにする
- ・ 幕府の学校では (8 **朱子学**) 以外の学問を禁止
- ・ 政治批判や出版統制で人々の反感を買い、6年で**老中**をやめる

株仲間、^{かこいまい}囲米、長崎貿易、松平定信、田沼意次、朱子学、天明のききん、

確認問題

- | | |
|---|---------|
| 問1 18世紀後半、田沼意次や松平定信がついた幕府の役職を何というか。 | 1 老中 |
| 問2 田沼意次が幕府の収入を増やすため、商人たちに結成をすすめた特権を認められた組織を何というか。 | 2 株仲間 |
| 問3 田沼意次は銅と俵物の輸出をふやすために活発化させたものは何か。 | 3 長崎貿易 |
| 問4 松平定信が行った政治改革を何というか。 | 4 寛政の改革 |
| 問5 松平定信が、幕府の学問所で武士たちに学ばせた学問は何か。 | 5 朱子学 |
| 問6 松平定信が、ききんに備えて村に蓄えさせたものは何か。 | 6 米 |

8, 19世紀の危機

外国船の接近→1825年(1 異国船打払令)を出して、外国船の撃退を命令
(2 天保のききん)で百姓一揆や打ちこわしが増える

1837年(3 大塩の乱):幕府の元役人が大阪で兵をあげた事件→幕府は大きな衝撃を受ける

9, 老中(4 水野忠邦)の政治:(5 天保の改革)という改革をする

- ・ 倭約令:ぜいたくを禁止し、出版を規制する・農民の出稼ぎを禁止
- ・ (6 株仲間)の解散を命じる→物価の下げのためだが、むしろ物価が高騰して失敗
- ・ 江戸と大阪周辺を幕府領にして、外国船への軍備を整えようとして失敗

大名や商人などから反発を受け、2年あまりで辞めさせられる→幕府の権力弱体化が明らかに

天保の改革、天保のききん、大塩の乱、株仲間、水野忠邦、異国船打払令、

10, 化成文化(19世紀前半、文化・文政という年号からとった)

- ・ 時期(100年くらいズレがある)

17世紀	18世紀	19世紀
	(1 元禄文化)	(2 化成文化)

場所

- (1 元禄文化):京都・大阪などの上方、経済力のある町人が担い手
- (2 化成文化):江戸の、庶民が担い手

文芸

3 十返舎一九	「東海道中膝栗毛」
4 曲亭馬琴	「南総里見八犬伝」
5 小林一茶	俳諧
6 与謝蕪村	

幕府の批判や世相の風刺をした歌

(7 川柳) : 五七五の歌 (8 狂歌) : 五七五七七の 31 音の歌

浮世絵 (多色刷りの錦絵)

9 喜多川歌麿	美人画
10 葛飾北斎	富嶽三十六景 (富士山と波の絵など)
11 歌川広重	東海道五十三次 (宿場町の風景)

学問

12 本居宣長	「古事記伝」で日本人らしい考え方を研究。国学を大成
13 杉田玄白	オランダ語の解剖書を翻訳。 蘭学の基礎を築いた
14 伊能忠敬	ヨーロッパの技術を使って、 正確な日本地図を作成

小林一茶、歌川広重、曲亭馬琴、本居宣長、十返舎一九、葛飾北斎、杉田玄白、与謝蕪村、
喜多川歌麿、伊能忠敬、狂歌、元禄文化、川柳、化成文化、

確認問題

- 問 1 1825 年幕府が外国船の接近に対して出した法令は何というか。
- 問 2 1837 年天保のききんを受けて、大阪で幕府の元役人が起こした反乱を何というか。
- 問 3 1841 年から老中水野忠邦が行った改革を何というか。
- 問 4 3 の改革で物価を下げるために解散させたのは、何か。
- 問 5 3 の改革でどのような人々を江戸から故郷に強制的に帰らせたか。
- 問 6 3 の改革で江戸や大阪周辺をどこの領地にしようとしたか。
- 問 7 19 世紀はじめ化成文化は、どこ中心に栄えたか。
- 問 8 「東海道中膝栗毛」という小説を書いたのは、だれか。
- 問 9 浮世絵で美人画を描いたのは、だれか。
- 問 10 幕府を批判したり、世相を皮肉ったりした歌を 2 種類答えなさい。
- 問 11 18 世紀後半、杉田玄白らが翻訳して出版した本を何というか。
- 問 12 「古事記伝」を書き、国学を大成した学者はだれか。
- 問 13 19 世紀初め、ヨーロッパの技術を使って、正確な日本地図を作ったのはだれか。

- 1 異国船打払令
- 2 大塩の乱
- 3 天保の改革
- 4 株仲間
- 5 農民
- 6 幕府
- 7 江戸
- 8 十返舎一九
- 9 喜多川歌麿
- 10 狂歌・川柳
- 11 解体新書
- 12 本居宣長
- 13 伊能忠敬

要点チェック (レベル2)

* 語句は次のページ

1, (1 徳川綱吉) の政治：5代将軍 (1680-1709年)

- ・ (2 朱子学) という学問をすすめる
- ・ (3 生類憐みの令) を出し、犬などの動物愛護をする
- ・ 金銀が不足し、金銀貨の質を (4 下げる)

2, (5 新井白石) の政治：学者 (1709-1716年)

- ・ 金銀貨の質をもとに戻す
- ・ (6 長崎貿易) を制限し、金銀の国外流出を防ぐ

3, (7 徳川吉宗) の政治：8代将軍、(8 享保の改革) という (1716-1745年)

- ・ (9 米) の収入を増やして、幕府の財政を回復しようとする
 - ・ (10 上げ米の制)：大名に参勤交代を緩める代わりに、米を幕府に献上させる
- 他、新田開発、年貢の取り方を変える、質素儉約を指示した。

- ・ (11 公事方御定書)：公正な裁判の基準を定める
- ・ (12 目安箱)：庶民の意見を政治に反映させる
- ・ ききん対策で、サツマイモの栽培をすすめる

4, (13 田沼意次) の政治：老中 (1772-86年)

- ・ 商工業の発展で幕府の財政を立て直そうとした
- ・ (14 株仲間) の結成をすすめる、特権と認める代わりに税をとる
- ・ (15 長崎貿易) で、銅や倭物 (海産物) の輸出をすすめる
- ・ 幕府と大商人の癒着 (わいろ) が問題に
- ・ 天明のききんにより (16 百姓一揆) や (17 打ちこわし) が増えて、失脚 (クビ) になった

5, (16 松平定信) の政治：老中、(17 寛政の改革) ともいう (1787-1793年)

- ・ 7の孫で、7の政治を手本にした
- ・ 農村の復興：都市に出た農民を故郷に帰らせる、商品作物の栽培を制限
ききんに備えて (9 米) を蓄えさせる
- ・ 学問の統制：幕府の学問所で (2 朱子学) 以外の学問を禁止する
- ・ 幕府の武士 (旗本・御家人) の借金を帳消し
- ・ 武士に質素儉約を指示、庶民に出版統制、など厳しい政策

6, (18 水野忠邦) の政治：老中、(19 天保の改革) ともいう (1841-43年)

- ・ 儉約令：ぜいたくを禁止、出版を取り締る
 - ・ (14 株仲間) の解散を命じて、物価引き下げをねらうが失敗
 - ・ 人返し令：江戸への出稼ぎを禁止して、農民を故郷へ帰らせる
 - ・ 上知令 (あげちれい)：江戸と大阪周辺を幕府領にしようとして、大名と旗本が反対
- わずか2年あまりで失脚して、幕府の弱体化があらわに

雄藩のおこり

肥前 (佐賀)、長州 (山口)、薩摩 (鹿児島) などの藩が改革に成功して、幕府に対して発言力をもつ

田沼意次、徳川綱吉、株仲間、長崎貿易、享保の改革、寛政の改革、生類憐みの令、米、松平定信、徳川吉宗、長崎貿易、水野忠邦、打ちこわし、朱子学、下げる、新井白石、上米の制、目安箱、公事方御定書、百姓一揆、天保の改革、

7. 学問の進歩と化成文化

- ・(1 国学)：日本古来の文化を明らかにする、古典の研究
 - (2 本居宣長)が「古事記伝」を書き、大成する→幕末の尊王攘夷運動に影響
- ・(3 蘭学)：オランダ語の書物を翻訳して、ヨーロッパの技術を広める
 - (4 杉田玄白)と前野良沢が「解体新書」を出版
 - (5 伊能忠敬)が正確な日本地図を作成
- ・教育の普及

(6 寺子屋)：庶民の子供に実用的な読み書きそろばんの知識を教える

藩校：藩の武士の子供に儒学などを教えた

私塾：緒方洪庵の適塾（福沢諭吉が学んだ）など蘭学の塾ができる

- ・(7 化成文化)：江戸中心の町人文化、18 世紀末から 19 世紀前半

(8 狂歌)と川柳：社会や政治をしゃれと皮肉で風刺した歌

(9 十返舎一九)：「東海道中膝栗毛」、江戸から大阪までの旅行ガイドブック的な物語

(10 曲亭馬琴)：「南総里見八犬伝」、千葉を舞台にしたファンタジーバトル物語

俳諧：(11 小林一茶), 与謝蕪村

浮世絵（錦絵）

(12 喜多川歌麿)：美人画

(13 葛飾北斎)：富士山などの風景画

(14 歌川広重)：江戸ー京都間の東海道の風景画

寺子屋、国学、十返舎一九、葛飾北斎、伊能忠敬、本居宣長、小林一茶、蘭学、歌川広重、喜多川歌麿、化成文化、杉田玄白、曲亭馬琴、狂歌、

7. 元禄文化と化成文化のちがい

問1 化成文化は、いつ、どこで、どのような人たちが担い手だったか。

問2 元禄文化は、いつ、どこで、どのような人たちが担い手だったか。

1 18世紀末～19世紀前半
江戸の庶民が担い手

2 17世紀末～18世紀初め
大阪・京都の町人が担い手

問3 次の文学について、元禄文化ならA、化成文化ならBと答えなさい。

- ① 井原西鶴が浮世草子というジャンルの小説を書いた (A)
- ② 小林一茶が民衆の気持ちを俳諧にした (B)
- ③ 曲亭馬琴が「南総里見八犬伝」を書いた (B)
- ④ 近松門左衛門が歌舞伎や浄瑠璃の脚本を書いた (A)
- ⑤ 十返舎一九が「東海道中膝栗毛」を書いた (B)
- ⑥ 松尾芭蕉が「おくのほそ道」を書いた (A)

問4 絵画について、元禄文化ならA、化成文化ならBと答えなさい。

- ① 葛飾北斎が「富嶽三十六景」など風景画を描いた (B)
- ② 俵屋宗達が「風神雷神図屏風」などを描いた (A)
- ③ 菱川師宣が「見返り美人」など浮世絵を始めた (A)
- ④ 尾形光琳が「燕子花図屏風」など描き琳派を始めた (A)
- ⑤ 歌川広重が「東海道五十三次」など風景画を描いた (B)

基本問題 (レベル3)

1. 年表問題

時代	世紀	できごと	中国
江戸時代	17	1683年5代将軍徳川綱吉が、武家諸法度で、儒学に基づく秩序を強調 生類憐みの令を出す	清
	18	1695年金銀貨幣の質を下げる	
		1709-16年学者の(1 新井白石)が政治を行う	
		1716年(2 徳川吉宗)が8代将軍となる	
		1717年大岡忠相を町奉行に登用する	
		1720年漢訳された洋書の輸入を認める	
		1721年②が江戸に(3 目安箱)を設置する	
		1722年新田開発を奨励する	
		②が参勤交代をゆるめる(4 上げ米)の制を定める	
		1739年青木昆陽に登用する	
1742年裁判の基準となる(5 公事方御定書)を定める			
1772年老中の(6 田沼意次)が株仲間から営業税をとる			
		1782年天明のききんが起る	

	1787 年老中の(7 松平定信)が質素儉約をすすめ、幕府政治の改革を始める 江戸を中心に(8 化成)文化が栄える 1789 年旗本・御家人の借金帳消しを図る
19	1825 年異国船打払令を出す 1837 年大坂町奉行所の元役人(9 大塩平八郎)が乱を起こす 1840 年アヘン戦争が起きる 1841 年水野忠邦が(10 天保)の改革を始める

- | | |
|---|-----------|
| 問 1 徳川吉宗が行った政治改革を何というか。 | 1 享保の改革 |
| 問 2 松平定信が行った政治改革を何というか。 | 2 寛政の改革 |
| 問 3 18 世紀、問屋が農家に道具を貸して、製品を作らせるしくみがあらわれた。これを何というか。 | 3 問屋制家内工業 |
| 問 4 江戸や大阪で、都市の貧しい人々が米の値段つりあげる商人をおそったことを何というか。 | 4 打ちこわし |
| 問 5 日本の古典を研究し、儒教や仏教などの影響を受ける前の日本人の思想を明らかにしようとする学問を何といか。 | 5 国学 |
| 問 6 西洋の学問や文化をオランダ語で学ぶ学問を何というか。 | 6 蘭学 |
| 問 7 幕府の命を受け、全国の沿岸を測量し、正確な日本地図を作ったのはだれか。 | 7 伊能忠敬 |
| 問 8 前野良沢や杉田玄白らが、オランダ語の人体解剖書を翻訳して出版した書物を何というか。 | 8 解体新書 |
| 問 9 町人や百姓の子どもたちが、読み書きそろばんなど実用的なことを学んだ場所を漢字 3 字で何というか。 | 9 寺子屋 |

*19 世紀には、働く人を 1 か所に集めて、手工業品を大量に作る仕組みができた。これをマニファクチュア (工場制手工業) という。